



和歌山



議会だより

Vol.28

2018年9月

3月議会定例会報告	P2
6月議会定例会報告	P3
一般質問	P4～P13
新議員研修会	P13
総務産業建設委員会報告	P14
文教厚生常任委員会活動報告	P15
議会の動き・議長公務日誌	P16



財産の取得について（消防防災設備整備備品）

○取得物品	串本消防署水難救助ボート積載車
1. 事業の内容	串本消防署に新たに水難救助ボート積載車を配備するため
2. 事業費	予算額 954万円 契約額 891万円
3. 財源	過疎債 880万円 一般財源 11万円
4. 契約業者	和歌山日野自動車株式会社 新宮営業所
5. 契約方法	8社を指名し、応札は4社で入札を実施。

○取得物品	消防ポンプ自動車CD-1
1. 事業の内容	平成8年に整備した和深分団の消防ポンプ自動車は21年経過し、老朽化したため更新する。
2. 事業費	予算額 1,891万円 契約額 1,624万円
3. 財源	過疎債 1,620万円 一般財源 4万円
4. 契約業者	和歌山日野自動車株式会社 新宮営業所
5. 契約方法	8社を指名し、応札は5社で入札を実施。

平成30年度串本町一般会計補正予算（第1号）

歳入歳出予算の総額に、歳入歳出それぞれ3億9,036万円を追加し、予算の総額は100億2,136万円となる。

主な予算	
○田原山村交流センター空調設備修繕工事費	641万円
○防災行政無線戸別受信機購入費	2,177万円
○地籍調査事業費	639万円
○学童保育児童送迎バス購入費	361万円
○くしもとこども園低年齢向け遊具設置工事費	185万円
○比曾原簡易給水施設取水樹補修工事費	100万円
○姫地内水路改良工事費	166万円
○橋杭漁港航路浚渫工事費	550万円
○菌床製造栽培大型共同作業場雨漏り修繕工事費	30万円
○熊野古道大辺路沿いトイレ改修工事費	343万円
○ビルフィッシュ大会経費	249万円
○薬師橋架替工事費	5,090万円
○土砂災害バザードマップ作成事業費	443万円
○串本都市計画道路見直し検討業務委託料費	552万円
○財政調整基金積立金	12,827万円
○高速道路推進事業費	5,406万円

第2回定例会（6月）

第2回定例会は6月13日から22日までの会期で開催されました。提出された案件は、当局より報告11件、人事案件5件、条例案件5件、補正予算案件5件、その他2件、追加議案として、当局より報告3件、議案6件、議会より広報特別委員会の設置の審議が行われました。審議された議案は次のとおりです。



3月議会主な議案

- 専決処分の承認5件
（住宅家賃滞納、民事調停の申し立て3件、和解2件）
- 串本町役場の位置を定める条例の一部改正について
新庁舎の位置はくしもと町立病院裏側、サンゴ台690番地に決定しました。
（原案に賛成11名、反対4名で原案どおり賛成多数で可決されました）
- 核兵器禁止条約の署名、批准をおこない早期発効のために主導的役割を求める意見書（案）の提出について
くしもと9条の会より出され、11名の議員が紹介者となった請願
全員一致で採択。本請願に基づく意見書を可決し、政府に送付しました。
- 2025年国際万国博覧会の誘致に関する決議（案）について
決議（案）は、賛成13名、反対1名で可決されました。
- 串本観光物産拠点施設等の指定管理者の指定について
一般財団法人南紀串本観光協会 会長 島野利之

30年度一般会計予算

○平成30年度一般会計予算	96億3,100万円
主な予算	
○庁舎建設準備基金	1億2万円
○新庁舎基本・実施設計業務委託	3,960万円
○前地町営住宅建替事業	1億2,348万円
○日ト友好のまちづくり推進事業	405万円
○和深総合センター大規模修繕事業	1,820万円
○避難路整備事業	761万円
○自主防災活動支援事業補助金	610万円
○災害用備品購入	858万円
○J-ALERT設備改修工事	747万円
○ふるさとのまちづくり応援基金	1億884万円
○有害鳥獣捕獲補助金	1,424万円
○県知事選挙	1,246万円
○和歌山県議会議員一般選挙	194万円
追加議案：工事請負・受記契約金額	
○白野漁港災害復旧工事	9,774万円
○串本町サンゴ台中央線改良工事	3億1,908万円

第1回定例会（3月）

第1回定例会は3月7日から23日までの会期で開催されました。提出された案件は、当局より報告5件、人事案件1件、条例案件21件、補正予算案件7件、新年度当初予算案件17件、その他4件、議会から請願1件、追加議案として、当局より報告1件、議案4件、議会から提出案件2件の審議が行われました。審議された主な議案は次のとおりです。



水口 崇

子育て教育現場

統廃合を進め教育環境を整えるべきである。普通教室へのエアコン設置率全国50%和歌山県45%串本も必要である。田辺市は設置予定です。

答弁(教育長) 多額の予算が必要である。学校の統合を見据えて考える。



持続可能な町作り

日本経済新聞に、地方インフラ、維持より解体という記事がありました。人口減の市町村は、町を存続するために維持管理費削減。インフラの新設を止めて、使わない学校、公民館等、公共施設の解体が始まっている。

串本町も今後40年間で813

億必要年間20・3億要ってくる。しかし庁舎・小学校・こども園・中学校・宅地開発・工業団地等建設計画がある。時代に逆行しているのではないかと。答弁(総務課長) 廃止や修繕不可能な施設については取り壊しを検討していく。

(町長) 駅裏開発は、アンケートをしていく。

質問 行動が必要。町の存続のため、住民サービスの低下も理解したくべきである。

駅裏開発

質問 国土強靱化の高台移転対象市町村全国で139カ所その内2町だけが応募している。

有利な政策であるが、137町村は人口減・財政等を鑑みて手をあげなかった。手を上げている串本町は本当に大丈夫なのか?町の存続のため止めるべきか?大学の協議を掛けている。

答弁 大学に協議を掛けている。

町立くしもと病院

質問 病院は福祉の根源。医は仁術である。医師と患者との信頼関係を築く。三ヶ月交替では信頼関係は築けない。

答弁(病院管理者) 顔と顔をちゃんと接する事ができる期間を目標して近大とも交渉していく。



川勝 昇

3月議会

▽高速道路と町づくり計画

質問 太地インターまでの高速道路延長が決定。新しい町づくり計画大切。県が主催し串本町で開催された「サン黒潮リゾートフォーラム92」の提言は指針でしょう。新しい時代への飛躍の町づくり推進が大切です。

答弁(建設課長) 関係沿道整備について近畿地方整備局長、運輸局長外、県、田辺市、串本町間首長による国道42号メ

インロードと活性化検討。町内では和深く古座間国道。潮岬、樫野等サイクリングのブルーライン路面表示。観光看板設置。駐車場スペースの確保。眺望休憩エリア。歩道外

灯。トイレの整備等今後検討。答弁(町長) 大江戸温泉物語やロケット誘致等進んでいる。持ち得た資源を最大限活用し

高速道路

質問 すさみく串本間での土砂処分での串本町への利益は?すさみ町は、40万立方で5億円町に入る。起工式での二階幹事長の挨拶(地元対応が遅れている)については?

答弁(建設課長) 残土処分の収益は要らない。挨拶は聞いていなかった。

質問 和深ICのフルインター化や各地の災害用ランプ等の要望についての取り組みは?

答弁(建設課長) 現地点は、高速道路早期完成を優先。

質問 公費を使って、すさみ町(周参見南IC)のフルインター(周参見南IC)のフルインター化・古座川町(串本・太地間)の陳情に議員も参加していた。その席には串本からの陳情団は無し。

串本も議員を含めた陳情をすべきである。選挙で選ばれた議員で、有る程度の抑えは効く。

災害対策

質問 和深のICや田並等の災害用ランプ等の陳情に周参見や古座川が参加するのか?田並等の津波で孤立化する所には災害用ランプが必要ですか?

和深のICや田並等の災害用ランプ等の陳情に周参見や古座川が参加するのか?田並等の津波で孤立化する所には災害用ランプが必要ですか?

6月議会

▽新役場庁舎建設への取組み

質問 5月22日新庁舎建設状況視察研修に参加。予定は13時から湯浅町でしたので、水口、清水、川勝3名は10時から印南町新庁舎建設状況研修も実施。

○庁舎高台移転建設と町民利便対策

○耐震構造、地下調整技術の採用と建築費関係

○町民の利用に備えた多機能設備等多くの示唆を学びました。我が町の新庁舎建設においても、庁舎機能と実施設計、財源対策等、議員全員参加の検討会を設け、町民の期待に応える新庁舎を目指すべきである。



答弁(副町長) 庁舎設計業者が決まり事務局段階で3回打

(工事用道路を残す) 高速が出来ても緊急自動車は入れない。



工事用道路を残しました
橋にある災害用ランプ

質問 建設のコンセプトを町民に知らすべきである。建物は免震構造にすべきである。

答弁(町長) 免震は難しい。6億円かかる。

質問 免震には、印南町では2億円と聞いている。当時串本病院も1.5億円+になると答弁。今殆どの建物が免震で建設及び建設予定である。



和歌山レスキューバイク隊
7月12日~16日広島・愛媛に
救援活動に出動
西日本豪雨災害の愛媛県
西予市災害救援センターへ
串本町から「なんたん水」

災害対策

質問 ボランティアにも資格を尋ねる。消防団員の資格を登録して災害対策をする。

答弁(消防長) 取り入れる。

ち合せした。7月の早い機会に議会の皆さんからご意見をいただきたく会を持たせて頂きたい。

▽高速道路事業と避難路整備

質問 高速道路延長の使命の一つは予想される南海トラフ地震への備え地域住民の生命を守る使命です。高速道路は高台を走る、従って各集落との連絡道路整備が大切です。

答弁(建設課長) 集落との連絡道については工事用道路が有効にかつようであると考え。現在大きな工事用道路16ヶ所あります。その用地は町が買収するが避難用道路として残したい。

▽出雲塔石間道路の取組

質問 予算計上後2年経過。用地折しよう等事情は承知するが早期促進に努力されたい。

答弁(建設課長) 平成27年度に着手。必要用地17筆地権者5名現在残り1名地元の方々が大変ご尽力交渉中ご協力を得て工事着手する予定。

▽火葬場対策 JR串本駅問題 橋杭公園整備方等提起



五十川 清紀

第一回 三月定例会一般質問
観光開発について

「南紀串本観光協会」の法人化により雇用の確保や観光開発の骨組みが組織化され今後、住民の賛同を得ながら進むことに期待。

質問 紀伊半島は世界の観光名所5位に選ばれた。本州「最南端串本」を県に働きかけグローバルな活動もするべきだ。今回、観光行政の進捗、新組織でのサマリー（人、物、金）、ロケット発射場、ホテル等企業誘致の現状、視察による外国人誘致の展望や新事業としてインターチェンジに直結する「道の駅」の直営、委託出店等の構想はないのか、古民家再生事業等について求めた。
答弁（産業課長）南紀串本観光協会として収益事業も積極

的に取組み、会員の拡大による資金確保（個人会員年会費3000円、公式サイト等個人宣伝を要する場合等12000円）、ロケット発射場、ホテル誘致は今年中に着工できる予定。外国人誘致等について県にインバウンドの担当部署もあるため前向きに検討したい。「道の駅」について橋杭は狭隘なため財政状況を見ながら対応して行く。古民家再生事業として9月、2件オープン予定で街中探索、街中ホテルとして拡大予定。

串本病院について

質問 高齢者入院90日ルールの関係で特に独居住民は困っている。医療機関が少なく行く場所に悩む、病院での手立てはないものか
答弁（病院事務長）長期入院の時は入院基本料が下げられ病院経営との兼ね合いに起因するルールで、90日あるなしにかかわらず各病院とも、平均在院日数関係があり長期入院していただけないのが現状。退院日は、患者さんと医師、看護師のもとで相談し決

めている。
質問 国が2年に1回の見直しをしている。病院病床の機能分化と在宅医療の推進と思われるが地方においては大変困難な状況。町の取り組みについて伺いたい。
答弁（福祉課長）今後の姿勢として「介護予防」を重点的に取り組みたい。

めている。
第二回 六月定例会一般質問
防災アプリ等について
質問 県防災ナビについて、町域のスマートフォン普及率、GPS使用につき個人情報保護、通信切断時も使用可能なか問い、町として避難行動等の一助として若い世帯、学校、観光客等への活用を提起。また町域でラジオ電波受信網の整備を要望。
答弁（総務課長）防災ナビは災害発生時避難場所の地図や最短ルートが画面で確認でき家族等登録者の居場所が地図上で確認できる。アプリに関しては、広報で掲載する。ラジオについては防災グループ

と調整し県に連絡する。
再生避難路等について
質問 地域自主防災会で住民の手づくり避難路が腐食し、住民も高齢化し、再生には危険が伴う避難路。また、液状化が考えられる避難路、土砂災害が考えられる避難路について区等の要請があれば対応願いたい。
答弁（総務課長）優先順位も含み対応して行く。

また町域でラジオ電波受信網の整備を要望。
答弁（総務課長）防災ナビは災害発生時避難場所の地図や最短ルートが画面で確認でき家族等登録者の居場所が地図上で確認できる。アプリに関しては、広報で掲載する。ラジオについては防災グループ

防火水槽の設置について
質問 火災になれば消防車の水源として消火栓、防火水槽の整備が重要になる、地域的に見て防火水槽は少なく思う現状はどうか
答弁（消防長）消防水利として消火栓621基、消防の防火水槽103基整備指針に基づき適正整備をしている。そこで足りない部分に関しては分団長また区民の皆さんと相談しながら整備を進めたい。30年1月、串本土木共同組合と協定を締結したことで水槽を要する火災等の対応が可能になった。



仲江 孝丸

図書館の将来構想

質問 古座分庁舎を図書館の候補地として考えているようだが、図書館奉仕の目的を満たす図書館ができるのか。
答弁（教育次長）図書館協議会の中で協議してしっかりとした計画を作っていきたい。

質問 串本に分館を置く必要がある。図書館奉仕全般は本館で行い、分館は本の閲覧・貸し出しに特化すればよい。
答弁（教育次長）分館の運営の仕方も含めて運営協議会にかけていきたい。

新庁舎建設に関する提案

質問 新庁舎は町バスのターミナルともなる。ビッグUのようにフリースポットなど住民のくつろぎと交流の場を設けてはどうか。
答弁（総務課長）町民が気軽

に訪れるのは大事。基本設計の中で専門家の意見を聞きながら検討していきたい。

太陽光発電の現状と問題点

質問 脱原発という観点から自然エネルギーへの転換が求められている。しかし問題点を考慮した上での設置が必要。町独自の規制条例を作る考えはないか。
答弁（副町長）県が先行しているが、それを精査して町で制定できるかどうかを検討したい。

質問 高速道路の工事用道路の建設が着手されて、生活への影響を懸念する声が聞かれる。住宅地に近い場所の影響への配慮は。
答弁（建設課長）説明会を開催し理解を得て進めている。低騒音機械の使用や埃対策の散水など業者への指導を徹底している。

高速道路工事と住民への影響

質問 高速道路の工事用道路の建設が着手されて、生活への影響を懸念する声が聞かれる。住宅地に近い場所の影響への配慮は。
答弁（建設課長）説明会を開催し理解を得て進めている。低騒音機械の使用や埃対策の散水など業者への指導を徹底している。

清掃とゴミ処理

質問 ゴミステーションの管理責任を区に負わせるのは問

違い。利用者を明確にして利用者が責任を負うべき。
答弁（住民課長）利用者が責任を負い、区に協力して頂いている。
質問 収集日以外に出したり他地区から持ち込む住民がいる。保管庫設置の方法から見直すべき。
答弁（住民課長）啓発については今後考えて行きたい。

児童公園の充実

質問 串本町にも新宮市の海賊公園スクエアや田辺市の新庄公園のような家族で楽しめる大型公園が必要だ。
答弁（副町長）私たちも不足していると考えている。駅裏開発が進めばそこに児童公園を設置していきたい。

串本駅の改善のため

質問 障がい者高齢者はもちろんの事、最近の旅行客は荷物が多い。串本駅にエレベーターの設置を。
答弁（企画課長）勝浦駅で町と県が併せて1億9100万円負担している。
質問 大江戸温泉物語の開業

に伴う入湯税の増加の部分を支えよう。
答弁（産業課長）入湯税の増加は年間10万人の宿泊として千五百万円となる。

放射能汚染から町の未来を守るために

質問 ビキニ事件で被爆したのは第5福竜丸だけではない。その後も核実験は続いて放射能汚染は続いた。
答弁（教育次長）ビキニ事件の教訓や福竜丸建造の歴史を語り継ぐ事業を行い、核兵器のない社会に向けた啓発は続けていきたい。

答弁（総務課長）ビキニ事件を教訓としなければならぬのは福島第一原発事故だ。沿岸海域に放射線物質の流出が起きたが、調査が十分になされていない。2次の被曝者を出さないことが重要だ。
質問 原発の核燃料廃棄物の受入先がないために全国の適地調査をしたが、その中に串本町も含まれている。
答弁（町長）串本町は一切受け入れる考えはないことは明言して置く。



芝山定史

一、「検証しながら発展する町へ」三月議会（抜粋）

【質問】 紀の国わかやま国体（串本会場）その後？

【答弁】（教育次長）費用対効果を算定する事は、難しいが利用者数、利用団体、使用料等は少しずつでも増加傾向にあるので、効果はあったと思う。

【質問】 グランドへのスポーツ誘致状況は？

【答弁】（教育次長）南紀エリアスポーツ合宿誘致推進協議会に属し協議会を通じ情報を発信している。

【質問】 国体後のグランド整備は？良好なグランド状態を保っているか？

【答弁】（教育次長）委託管理会社と連絡を密に取り良好なグランド状態を保ちたい。

【質問】 「海難1890」封切り後三年が経過したが、映画の串本に与えた影響は？

【答弁】（町長）トルコ記念館への来場者数が、封切り後一万人を超え、三年後二万人台と予定、又串本の誇る史実が全国にあるいは町の子どもに伝える資料となる意味で影響あったと思う。

二、「ライフライン水に対する防災対策」

【質問】 水道管の耐震配管の整備率は？健康に害する石綿管の残存率は？

【答弁】（水道課長）耐震配管普及率は15.85%でありアスベスト管の残存率は1.6%です。

【質問】 耐震配管の整備は災害被害の軽減につながるのか？

【答弁】（水道課長）耐震配管に対する補助制度がないので、苦慮しながら場所等有効に考えながら計画的に進めているところでは。

【質問】 災害時における人員配備体制と給水車の保有台数は？

【答弁】（水道課長）人員は七〇名、内水道課八名体制であり、給水車は一台とタンクを四台（古座分庁舎、大島、サンゴ台、手元）保有している。

三、「通学時の児童の安全確保」六月議会（抜粋）

【質問】 小中学生の通学状況と安全対策は？（犯罪から児童を守る）

【答弁】（教育次長）集団登校を原則とし、串本西小、大島小、古座小で実施。他にスクールバス停留所から集団登校や誘い合い登校の指導をしている。

【質問】 通学の安全確保には地域の協力が必要では？

【答弁】（教育次長）潮岬に岬っ子パトロール、古座にゆうかりパトロールとすでに実施しているところがあり参考にして考えていきたい。他に保護者間の順番制で安全確保に努めている地域もあります。

【質問】 児童への安全確保に努めたい。児童施設の数と利用者数は？待機児童は？統一した指針はあるのか？

【答弁】（子ども未来課長）五施設あり計一六八名利用、待機児童数は無、国の放課後児童クラブ運営指針に基づき細かい部分は各施設にお願いしている。

【質問】 保育園への待機児童数は？

【答弁】（子ども未来課長）二歳児で一名、一歳児で二名の計三名です。

【質問】 将来の園児数が認定子ども園建設の規模に影響してくるのでは？

【答弁】（町長）当然園児数、建設コスト、保護者との考えのすり合せ等が大切になってくると思います。（未だ私的な考えではあるが）

四、「各地区自主防災会との連携強化」

【質問】 各地区自主防災会には各地区の問題がある。把握する方法は？（必要性）

【答弁】（総務課長）ワークシoppで、各地区の意見、要望等を把握している。



清水健太郎

・水道布設費について

【質問】 駅裏と病院裏に水道を引く工事の設計費が水道会計から出たが、設計費と工事費はどの会計から出すつもりですか？

【答弁】（水道課長）土地を造成し、その土地に水道管を布設する場合には配水管布設工事費と宅地造成分担金が必要で、宅地造成分担金は水源施設等拡張に要する資金に充当するもので、造成地までの配管工事費は造成者が負担するものとなっております。通常は配水管布設については造成者が費用を負担することになっているが、今回は造成者が土地開発公社、町であるため、配水管布設については水道事業で負担する予定になってい

ます。

（中略）

【質問】 将来の開発や二色への接続等も考え、必要なものより太パイプを布設するので、水道会計で（配水管布設工事費の）負担を考えてます。

【質問】 それは新庁舎建設事業等で負担すべきではないでしょうか？住民の水道料金からその費用を出すというのは水道料金の名前を借りた特別徴収になるのでは？

【答弁】（水道課長）水道を引いてないところに水道を引っ張っていくというのも水道事業の一環なんです。

【質問】 水道事業で必要な分と新庁舎建設事業で必要な分を按分して出さないと全部水道料金から出すというなら住民は納得しないと思いますが？

【答弁】（水道課長）町には宅地造成分担金を負担してもらおう予定です。

【質問】 宅地造成分担金というのは300万か400万ですか？

【答弁】（水道課長）3億

円くらいと聞きましたが。（宅地造成）分担金というのは配水管を引くための金額ではなく、水の使用の増分に対して給水施設を大きくしたりするのに使うと書いてありますよね。だから配水管を引くのは事業で引きなさいと書いてあると思うのですが？

【答弁】（水道課長）配水管の布設工事費は2.2億円と試算しています。うちから見れば議員がおっしゃるようにもうちょっと負担してほしいというのが本音です。

【質問】 水道課長はあ言われてますけど、町長はどう考えているのですか？

【答弁】（副町長）造成分担金は土地開発公社が支払い、その費用を上乗せした形で町が（土地開発公社から）買い取る形になる。

【質問】 配水管布設工事費を一般会計から出すというなら水道使用料収入は、一般会計に入れるべき。土地開発公社が負担すべきものは造成分担金だけ

になる。

【質問】 ですから、普通、宅地造成や事業をして配水管を引くときは、その事業でお金を出すように、条例に書いてありますよね？

【答弁】（副町長）宅地造成の場合、土地開発公社が水道管を布設して、現物を上水道会計に寄付してきた（配水管布設工事費を負担した）。

【質問】 今回の用地は多目的用地として造成した。町の理由により、その部分が庁舎用地として必要になった。土地開発公社としては（宅地造成用地ではないので）、水道管の布設にかかる費用負担は生じない。

【質問】 水道課としてはどうですか？2.2億も突っ込むなら老朽管の改修等に使うべきではないのか？

【答弁】（町長）この辺に関してはもう一度議論してみたいと思います。

【質問】 児童への安全確保に努めたい。児童施設の数と利用者数は？待機児童は？統一した指針はあるのか？

【答弁】（子ども未来課長）五施設あり計一六八名利用、待機児童数は無、国の放課後児童クラブ運営指針に基づき細かい部分は各施設にお願いしている。

【質問】 保育園への待機児童数は？

【答弁】（子ども未来課長）二歳児で一名、一歳児で二名の計三名です。

【質問】 将来の園児数が認定子ども園建設の規模に影響してくるのでは？

【答弁】（町長）当然園児数、建設コスト、保護者との考えのすり合せ等が大切になってくると思います。（未だ私的な考えではあるが）



長脊 守

◎三月議会一般質問

①防災対策について

津波避難困難地域対策について尋ねる。

津波防災地域づくり推進計画に基づき、津波避難困難地域十ヶ所の解消を目指し、和歌山県と協力しながら取り組んでいる。串本地区東海岸の護岸嵩上げ、耐震化工事や大江戸温泉物語南紀串本に、避難ビルの協定を進めており今後、避難困難地域が解消できない地域については、避難タワー・避難施設等の建設を検討。

②くしもと町立病院について

休日や夜間診療と、電話対応等について尋ねる。

第二次救急医療病院であり、基本的には、専門、専門外を問わず二十四時間体制

で対応。専門外の重症患者には、オンコール体制で専門医を呼び出して対応。日々の日直・当直体制は医師一名看護師一名ないし二名体制で対応。また基本的には、患者さんが集中した場合、重症度順に診ることから、お待たせすることについてご理解いただきたい。脳梗塞や心筋梗塞などは、他院への転送となる場合もある。電話対応の研修等は行っていないが、病院の信頼・診察の信頼につながっていくことを肝に銘じ、全職員、電話対応等については、指導、指示を行っていききたい。

③町民グラウンドについて

町民グラウンドの整備と体育施設高台移転について尋ねる。

側溝に土等や水はけ改修については早急に対応。周辺の駐車場については、一度現場を確認。体育施設の高台移転は、串本町に限らず事前復興計画を立てる市町村は、将来的には、商業施設やスポーツ施設等は低地、生活する

場所は高台が基本。他に必要支援者対策※動物愛護※上水道施設について尋ねる。



◎六月議会一般質問

①防災対策について

避難困難地域共通対策について尋ねる。

現在、和歌山県による串本地区東側沿岸の堤防嵩上げ工事。橋杭小学校付近から大水崎地区の工事、今後は矢ノ熊地区の工事予定。その後、串本漁協付近の工事計画又、高波対策として、姫地区国道に越波対策の工事実施。

通学路の安全対策について尋ねる。

町内のブロック塀や公共施設と学校付近のブロック塀調査。一部町営住宅と旧田

並小学校のブロック塀を今後、補強や撤去等含め検討。
②予防接種について
任意予防接種の再接種助成について尋ねる。
任意で再度当該の予防接種を受ける者に対し、全国で二十の自治体で助成制度実施。同じワクチンを再接種する場合には、任意接種となり費用は一回当たり一万円前後で必要な再接種全で二十万円程度が必要。現在は、和歌山県内で助成を行っている自治体は無。例えば、町内において一回把握して、今度、新しい病院管理者を含め、一度協議。
他に※緊急避難場所※田並地区防災拠点施設について尋ねる。



漆畑 繁生

・串本保育園、小学校の必要性について

串本小学校は合併後生徒数が半減しており、今後も減りつづけ、建設する必要性があるのか。大島小、中を串本小とし、出雲小を串本保育園として使用してはどうか。

何年も議論し議会でも駅裏の造成を認めている。今何の議論をしているのか意味がわからない。

駅裏に庁舎建設をするこしかならないと言いつつ、交付税措置のある起債に間に合わない理由で変える事ができた。小学校、保育園の建設事業も変更できるのではないか。約20年後には、出生数が40人になると推計されており、

この施設利用する生徒数が10年後20年後も確保できるのか。

必要なものはやる。みんな大島に行ったらいいと言ふ事にならない。

生徒数の減少を勘案せず過去に小、中の建設要望を聞き入れた結果、大島中、田原中、究極は養春小学校が10年20年で廃校になった。

養春小学校を建てる時議員は反対されたか、一町民として建てるべきでないと思っただか。

過去の議論がまったく無駄なような質問をされている。

過去を全否定しているわけでない。10年後20年後の結果が出た。その反省に立つて将来の政策に反映させていくべきではないか。

無能と言われたらそれ以上言う言葉がない。



佐藤 武治

小中学校におけるスマホ・携帯の現状

当町の小中学校における所持率は、

小学校で平均約25%、中学校で約83%の所持率となっています。

昨年の12月川崎市の市道で電動アシスト自転車に乗りスマホを操作して歩いて歩行者にぶつかり死亡事故を起こしたり、SNSを使い、家出の誘いや10代の女児の裸画像を送らせていた事件が報道されていました。このように事件に巻き込まれる懸念がありますが、学校での指導や外部講師を招いての講習会の開催はされていますか。

スマホを持つことへの危険性を児童生徒に押し付けています。講習会についても専門家を招いて児童生徒・教職員だけでなく、保護者にも参加をしていただきたい開催しています。

スマホに熱中する事で家庭学習の時間が少なくなってくる傾向があります。保護者と学校、子供の3者がルールを設け

ながら改善していく必要があると思います。

大江戸温泉物語がオープン予定ですが雇用についての状況はどうなっていますか。

3月12日現在正職員、パート職員合わせて85名の雇用決定、うち地元雇用は59名です。

当初予想では年間10万人程度の宿泊客を見込んでいたと聞きましたが、現状もその認識ですか。

大江戸温泉物語からは10万人を考えていると聞いています。全国35施設のうち予約率は串本がトップになったと聞きました。大きく期待しているところです。

大江戸グループ全国の年間平均稼働率は約87%と聞いています。80%を見込んで10〜12万人が来ると報告受けています。

民間ロケット発射基地について県が地理的な面で串本が最適として誘致に取組んでいると聞きますが、経過と現状についてお聞きします。

県は宇宙ビジネスを有効な成長分野としており、串本が地理的に射場の立地に最適と判断していただいたが決定ではありません。地権者への説明会、古座分庁舎に事務所設置し今後の交渉、調査等に支援していきたいと考えます。



鈴木幸夫

活性化の取り組み

質問 観光の入込客も含めて町の状況をどう見るか。

答弁 ホテルの開業、その他宿泊の施設の頑張りで数字が上がっている。

質問 新しい観光スタイル、観光メニューの増強が必要ではないか。

答弁 まちなか散策として、町を歩いてガイドしながら町の魅力を知ってもらおう、ガイド部会の設立を考えている。

その他質問 古民家活用によるまちなか観光の振興も視野に入れて、JR串本駅周辺を観光スポットとしての整備について

町営住宅の管理運営

質問 住宅セーフティネット法が施行され、高齢者、子育て世代、障がいのある人等、住宅を確保するための配慮の必要な方に対するの仕組みが創設されたが、町の考え方は。



沼谷美次

防犯カメラについて

質問 昨年、田辺市では11月に強盗致傷事件、12月に女児が男に催涙スプレーをかけられ大けがをする事件の発生がありました。商店街、梅干し倉庫に設置された防犯カメラの映像が容疑者逮捕につながったとあります。住民の安心、安全、生命を守るために防犯カメラ設置の検討は。

答弁 (総務課長) 防犯カメラの設置の目的は心理的な犯罪の抑制と犯罪や異常の発生を早期に見発するということがありますが、費用対効果のバランスを図りながら必要な場所には設置していくことを考えます。

答弁 (町長) 昨年12月議会の予算査定するとき、串本町の中で人口活動、人口が増えてく

るといのは確実でありますから、主要なところに幾つかつけたらいいではないかと私から提案させていただいたところでもあります。

携帯電話、スマートフォンについて

質問 スマートフォンの弊害の指導について

答弁 (教育次長) 使用時間ということで学習時間が少なくなるということがあります。ネットを通じてのいじめにつながる部分も出てまいります。こういった中、小学校の段階から情報モラルに関する指導を行っております。

質問 自転車のルール違反の中に傘や携帯電話を使用した場合、罰則や罰金があるので十分指導して頂きたい。

答弁 (教育長) 学校では、定期的に交通安全講習を受けたり、各学校で情報教育も実施しております。



橋爪和雄

地域活性化について

質問 地方は過疎化や後継者不足で悩んでいます。地域やコミュニティをどう守っていくのか、最重要視される時代になっていきます。お互いに手を取り合い地域をどう守っていくか、地域内にお金を循環させていくか。

自分だけいいという時代ではありません。そのためにも農業・商業・観光いろいろな産業の連携が絶対必要です。

農林水産業、商工、観光の発展につながるビジネスとして成り立つ産業連携の取組についての考えを聞きました。

答弁 行政だけでなく、観光協会・商工会・漁業組合・農協いろいろな各種団体との連携も必要。そういった連携を密にして、この地域の活性化

あるいは発展につながっていくような事業を積極的に取り組んでまいりたい。

子育て支援について

質問 病院は、子育て支援のかかわりは大変重要ですか。

小児科・産婦人科の二十四時間体制の取組みについて聞きました。

答弁 先日来より新管理者と新年度からの小児科の診察について協議を行っている。

質問 町民に愛されるような病院づくり。

小児科と産婦人科の体制強化について再質問をしました。

その他、

○広域のバイオマス発電所の取組みについて。

○小規模事業者持続化補助金について。

○紀南を中心とした広域での観光振興について。

○海洋エネルギーの取組みについて。

○結婚・出産祝い金について。質問をしました。

新議員研修会

7月17日(火)和歌山県自治会館で新議員研修会が開催されました。

串本町からは五十川議員、島野議員、清水議員の3名が参加しました。

和歌山県町村議会議長会の寺町忠会長からの開会の挨拶のあと、全国町村議会議長会議事調査部 参与の荒井幸弘氏より「地方議会の役割と権限」と題して講演がありました。

主な内容として、以下についてお話しくださいました。

議会の役割

団体意志の決定
議会は地方自治体の意志を最終的に決定する。

決定する項目は条例の制定又は改廃、予算の決定、決算の認定など15項目。

執行機関の監視

議会は、主権者である住民に代わって執行機関を監視・評価し、執行機関の独走をチェックする。

議会が決定した政策を中心に行う執行機関の行財政運営

や事務処理ないし、事業の実施が、すべて適法・適正に、しかも公平・効率的に、そして民主的になされているかどうかを監視し、評価する。

議会、議員の権限

議会には上記の議会の役割を果たすための色々な権限があるが、あくまで議会としてであり、議員個人としては一住民とまったく同じで資料を請求する権限はない。

執行機関が資料を出さない場合は住民と同じく情報公開条例を用いて請求しなければならぬ。

新人議員にとっては非常に有意義な講演で、大いに勉強になりました。



総務産業建設常任委員会

◇平成30年2月15日(金)

◇出席議員 漆畑繁雄、沼谷美次、水口 崇、五十川清紀

◇説明員 鈴木幸夫、佐藤武治

◇付議事件 総務副課長梓谷徳彦、総務課長田中正文、田並地区防災拠点施設整備事業について

総務課長より、平成29年度付議事件について、事業実施ができなくなった理由説明があった。

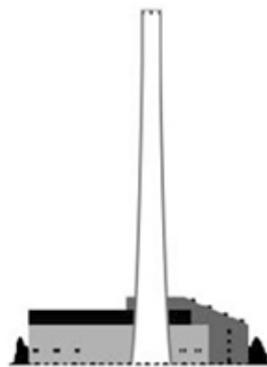
この事業はリサイクルセンター建設に係る要望事業で、事業執行には、土地購入者が必要であり、買収同意を得た名義人が亡くなった。相続者が相続放棄した為事業ができなくなった。地元より、後年度になっても予定地で進めてほしいとの要望を受け、土地取得の法的手続きにはいり、1年程度かかる見込み。用地購入完了するのは、平成31年1月から2月頃になる旨の報告があった。

質問 水口委員

全員相続放棄すれば国のものになるのではないか。国から取得する方法もあるのではないか。その方が安く買えるのではないか。

総務副課長

施設の性質上一刻も早い建設要望を受け顧問弁護士に一番早く購入できる方法でこの手続きを取った。



◇平成30年3月16日(金)

◇出席議員 全員出席

◇説明員 副町長清野武志、企画課長平井治司、産業課長濱地弘貴

◇付議事件 小型ロケット打ち上げ射場の誘致について

企画課長 新世代のロケット打ち上げ場が、国主導から民間事業者に積極的に推進することを目的に、法律が平成28年施行された。

ロケット打ち上げ会社が、全国に適地の照会をし、県が誘致に乗り出した。大きな経済効果、広く本県の振興が期待できることから、積極的に取組んでいくと県議会でも答えている。

2月14日田原山村交流センターで地権者の方々に説明会が行なわれ、候補地として、串本町を最優先に考えているが決まったわけではなく、射場にふさわしい土地であるかの認識ができること、土地取得の見通し、地元関係者の理解が得られるかの3の要件をみたく必要があると説明があった。

質問 水口委員

具体的経済効果、漁業組合、の協力体制について

企画課長

大樹町の場合北海道内で年間267億円の経済効果がある

り県内でもそれだけあることになりません。

漁業組合との接触は県がやっているのでわかりません。

質問 鈴木委員

どのくらいの時期に、3の条件がクリアーできるのか。

企画課長

夏くらいに決定したいといっています。

質問 沼谷委員

どのような協力をしたらいのか。

企画課長

決定したら議員さんとも一緒に町が発展にがんばってまいります。

産業課長から、発射時の見

物客が少なくとも2000人から3000人であり、決定

すれば、見物場駐車場の整備

をしたい答弁がありました。

最後に副町長より、地域の住

民の皆さんの不信、不満色

な尋ねたい内容、常に住民

の立場に寄り添い、住民の考

え方を聞くということを重視し

ていきたいとの発言があった。

各委員会活動報告

文教厚生常任委員会

文教厚生常任委員会の最近の活動を紹介します。

本委員会はご存知の通り、教育・図書館・学校給食やくしもと町立病院、ごみ処理・火葬場などの環境衛生、国民健康保険・介護保険・高齢者福祉・子育て支援・しょうがい者福祉などの福利厚生を所管とする、条例で定められた常任委員会です。メンバーは町会議員7名で構成されています。

国民健康保険について、平成30年4月から和歌山県が一括して運営することになり、これまで串本町が保険者であったものが県に移管されました。このことに伴う町民の皆様への影響について、当局からの説明を求め、本委員会でも協議いたしました。

結論は、当面は国保税保険料・町民の皆様の国民健康保険利用については、影響がほとんどないことが分かりました。但し将来的には国保税額の県単位の平準化、国保税の算出方法が資産割をなくし所得割に重点を移す動きなどが

あります。

串本町は、国保税が他の市町村と比較して低い水準にあります。また、国保税算出方法の変更が行われれば、町民の皆様の国保税負担が変わることも考えられます。

町民の皆様の暮らしに影響する国民健康保険制度について、今後、本委員会は注視してまいります。



介護保険制度については、平成30年4月から今後3年間の介護保険の運用を決定する第7期介護保険事業計画・第8期高齢者福祉計画が策定されました。

これについても当局からの説明を求め、本委員会でも協議いたしました。

国の施策変更に伴い、在宅介護に比重を移す諸施策が盛り込まれこと。介護保険料月271円の増額が示されました。

本委員会では、この増額は更に深刻化する高齢化社会の到来に伴う、介護保険制度の持続的な制度運営のためには必要と判断いたしました。

さて、6月の定例議会において、精神しようがい者の交通運賃割引を求める意見書が和歌山県精神保健福祉家族連合会から串本町議会に提出されました。

これは、国に対して串本町議会にこの意見書の提出を要請するものです。

本会議において、文教厚生常

常任委員会へこの意見書の扱いが付託されました。

当委員会では、意見書の提出者を参考人として委員会に出席を要請し、主旨説明等を受け、参考人への質疑を行いました。

協議の結果、賛成多数により意見書を採択することに決定しました。

当委員会の所管する事項は、町民の皆様の暮らしに直結する課題が多くあります。

委員会活動を活発にし、暮らしやすい町の実現を目指して、これからも活動してまいります。

■表紙写真説明

南紀ジオパークの中で、かつての火山噴火の痕跡が残るのは潮岬と大島である。とりわけ潮岬は海中で玄武岩マグマが噴出した証拠の枕状溶岩が残されている。本州最南端の海岸に降りて灯台方面を眺めたら、白黒に分けられた岩脈が目につく。これは先に噴出した黒っぽい玄武岩マグマを割り裂いて、白っぽい珪長質マグマが貫入した痕跡で、激しい火山活動が行われていた事を示している。

議会の動き

（本会議）	（臨時会）
3月 7日～ 3月23日 第1回定例会 6月13日～ 6月22日 第2回定例会	2月15日 第1回臨時会
（委員会）	
【議会運営委員会】 1月29日・2月15日・2月27日・3月9日・5月7日・ 5月17日・6月5日・6月18日	6月14日 文教厚生常任委員会 6月19日 総務産業建設常任委員会 7月13日 文教厚生常任委員会
【常任委員会】 2月15日 総務産業建設常任委員会 2月23日 文教厚生常任委員会 3月 8日 総務産業建設常任委員会 3月12日 文教厚生常任委員会 3月16日 総務産業建設常任委員会 5月11日 文教厚生常任委員会 6月13日 総務産業建設常任委員会	【特別委員会】 7月 9日 議会広報特別委員会 8月 6日 議会広報特別委員会 【全員協議会】 1月10日・6月20日・7月23日
	（研修会） 5月28日 全国町村議会議長会 議長・副議長研修会 7月17日 和歌山県町村議会議長会 新議員研修会

議長 公務日誌 (平成30年1月～7月 主なもの)

1月	3日 成人式（串本町文化センター） 串本ふるさと大使会議（串本ロイヤルホテル）	5月	14日 和歌山県市町村振興協会 理事会（和歌山県庁 知事室 他）
	5日 和歌山県町村議会議長会正副会長及び県知事への年頭あいさつ（県庁知事室他）		18日 和歌山県山村振興対策協議会通常総会（和歌山市 県自治会館）
	7日 消防出初式（串本町文化センター）		20日 13回 串本町身体障害者連盟定期総会（串本町地域保健福祉センター 会議室）
2月	19日 和歌山県町村議会議長会 理事会（和歌山市 県自治会館）	6月	21日 交通事故をなくする県民運動推進協議会総会（和歌山ビッグ愛）
	27日 本州最南端の火祭り（潮岬望楼の芝）		23日 和歌山県町村議会議長会 第70回定期総会及び県知事・ 県幹部との意見交換会（アパローム紀の国）
	30日 学校給食センター運営委員会（学校給食センター 会議室）		28日 全国町村議長・副議長研修会（東京国際フォーラム）
	1日 和歌山県町村議会議長会 議長・副議長・事務局長研修会 （みなべ町）		8日 ねりんピック紀の国わかやま2019実行委員会 第2回総会（アパローム紀の国）
	3日 ジュニア駅伝競走大会串本町チーム結団式（串本町民グラウンド）		17日 串本町少年剣道大会（串本町立体育館）
3月	7日 平成30年北方領土返還要求全国大会（東京都 国立劇場）	7月	25日 串本町地域公共交通会議（串本町役場 会議室）
	8日 全国町村議会議長会 第69回定期総会、都道府県会長会、共済 会代議員会、会館評議委員会（東京都 全国町村議員会館）		27日 新宮周辺広域市町村圏事務組合 6月例会監査（新宮市 新宮公設市場）
	10日 大島 水門まつり（大島 水門神社）		28日 平成30年度みんなの高速道路建設促進串本協議会通常総会 （串本町文化センター 会議室）
	14日 和歌山県町村議会議長会 臨時総会及び県幹部との意見交換会 （和歌山市）		29日 一般社団法人南紀串本観光協会通常総会 （ホテル&リゾート和歌山串本）
	18日 第17回 市町村対抗ジュニア駅伝競走大会（和歌山市）		1日 橋杭海水浴場、田原海水浴場 海開き式
4月	22日 和歌山県市町村総合事務組合 2月定例会（和歌山市 県自治会館）	8月	2日 近畿府県町村議会議長会（大阪府）
	25日 おもしろらんど春まつり（潮岬青少年の家）		3日 平成30年度紀勢本線活性化促進協議会総会 （那智勝浦体育文化会館 研修室）
	28日 新宮広域周辺市町村一部事務組合 例月監査（新宮市 新宮公設市場）		4日 串本土木協会 監査（古座分庁舎 議長室）
	5日 第3回 串本古座高等学校地域協議会（古座分庁舎 3階大会議室）		7日 ホテル&リゾート和歌山串本開業20周年七夕美食会 （ホテル&リゾート 和歌山串本）
	10日 第19回 本州最南端寿野球大会開会式並び前夜祭 （串本ロイヤルホテル）		10日 串本警察署管内警察消防連絡協議会 定期総会（串本警察署 大会議室）
5月	26日（公財）和歌山県市町村振興協会 理事会（和歌山市 県自治会館）	9月	11日 串本土木協会定期総会（和歌山県水産試験場 学習ホール）
	28日 第115回 和歌山県都市計画審議会（和歌山市 アパローム紀の国）		12日 和歌山県町村議会議長会 理事会（和歌山市 県自治会館）
	31日 一般財団法人 南紀串本観光協会開所式		14日 第29回 JAPANビルフィッシュトーナメントin串本餅まき （串本漁港本部付近）
	22日 串本町商工会女性部 定期総会（あらふねリゾート）		15日 第29回 JAPANビルフィッシュトーナメントin串本表彰式 （串本漁港本部付近）
	23日 北方領土返還要求運動和歌山県民会議 役員会 （和歌山市 県庁内会議室）		17日 和歌山県町村議会議長会 新議員研修会（和歌山市 県自治会館）

委員長 仲江孝丸
副委員長 五十川清紀
委員 島野力靖
委員 結城力
委員 漆畑繁生
委員 橋爪和雄



議会広報は特別委員会にて編集しているため、毎年設置・付託の手続きが必要で、顔ぶれもその都度変わります。今回の新メンバーのなかから「議会だよりは面白くない」「住民に読まれていない」と厳しい発言が出されたが、いざ分担任を決めて編集すると、従前のような紙面が出来上がりました。少しずつ改善をめざしていきます。

